



## 7 月度 定例会報告

### 産業(自立都市の整備)について」をテーマに、総勢 19 名が集結！

相模原市が目指している「コンパクトなまちづくり」に対し切り離せない**市内の産業構想**について、市 産業・雇用政策課 新津昭博様をお招きし定例会を開催しました。



市からは、①**本市の産業発展の歴史**、②**国内産業が直面している経済状況と課題**、③**企業誘致の必要性、新産業創出および企業立地構想**について説明をいただきました。

また、田口会員より都産研からの提言として、財源資源の視点から典型的な都市例、①**ベッドタウン都市**、②**産業中心都市**、③**交付金、補助金等を主な財源とした都市**の説明を行い産業基盤の方向性

と財源確保の課題について提案しました。3.11の震災以降、本当の意味で環境と経済の見直しが必要な今、今後の具体的な産業構造や企業誘致構想について更なる議論が必要で、コンパクトなまちづくりを掲げる本市から新たなモデル産業都市の構築が必要と感じる。

「なでしこ JAPAN」のように粘り強く世界一の自立都市を目指したいですね。(佐藤)

## <8 月度 定例会> ~エネルギー・森林資源について~

### エネルギーの概念を覆す！？ 俯瞰的視点が導く「さがみはら」の未来像

日時 平成 23 年 8 月 10 日 (水) 19:00~20:30 (予定)  
場所 相模原市立産業会館 大研修室 A (3 階)



3.11 大震災とそれに続く原発事故の影響を受けて揺らいでいる「エネルギー」に関する諸問題を、ミクロの視点から捉え直しつつ、マクロな視点との融合を目指します。その経過や結果が、エネルギー問題や森林資源の課題の解決にもつながり、「グリーンコンパクトシティー」を支える「何か？」を発見するカモシレナイ可能性を探ります。[担当：白井(一)、小泉、清水、杉岡、長崎]

◆内容：問題提起→化石燃料について→原子力について→食料について→水と空気(＋森林)について→再生可能エネルギーについて等をおさえた後で、おもむろに核心に迫る予定です。スペシャルゲストも参加予定…乞うご期待！！

## <8 月度 臨時定例会> いる？いない？ コンベンション施設の意義・可能性とは…

コンベンション施設は、相模補給廠の跡地利用(案)において**交流系複合施設**として記載されているものです。また、当会においても、7 月度定例会にて相模補給廠の跡地および相模原駅前施設のあり方について触れました。このたび改めて『コンベンション施設』をテーマとして、その可能性や意義をさらに深く検討します。[担当：中嶋、長崎]

日時 平成 23 年 8 月 24 日 (水) 19:00~20:30 (予定)  
場所 相模原市立産業会館 大研修室 A (3 階)

◆内容：「相模原駅周辺地区まちづくり計画<概要版>」(相模原市資料)、「人を呼ぶ戦略的利用提案」(当会資料)をおさらい→M氏による「相模原コンベンション事業の提案」を受け、核心に迫ります。もちろん、スペシャルゲストも参加予定！！

\* \* \* \* \*

★<8 月定例会> <臨時定例会>共に、会員以外のオブザーバー参加を大歓迎します！

定例会に関するご質問・お問い合わせは事務局 林までお気軽に！e-mail (t-hayashi@ssp21.or.jp) 電話 042-753-8131

## 都産研ラジオ放送を計画中

### 中学生向け提言書「さがみはらの 15 年後の君へ 提言 2010」を活用し、学生とのさらなる対談を！

昨年度に引き続き、今年度もラジオ放送を通じて相模原市のまちづくりや未来像について学生と対談の場を設けます。詳細は決まり次第、ホームページ (tosanken.net) や当ニュースでご案内いたします。

## <9 月定例会> 広域交流会 in 津久井

日時 平成 23 年 9 月 16 日 (金) 夕方集合~17 日 (土) お昼頃解散予定  
内容 津久井視察研修

都産研毎年恒例の広域交流会を今年は、津久井で開催予定です。今年も、もりだくさんの企画を検討中ですので、是非前もって上記の日程の確保をお願い致します！[担当：原保美、井上]